

2016
2.27



川崎市中原区役所
まちづくり推進部 地域振興課
地域コミュニティ強化担当
TEL : 044-744-3282

「中原区コミュニティフォーラム」 ～ 世代をつなぐ、小杉をつなぐ～

1 コミュニティフォーラムの目的

中原区では、武蔵小杉駅周辺地域のコミュニティづくりを行う事業に取り組んでいます。今回はその一環として、「次世代につなぐ」という視点で、今後の地域の担い手となりうる中学生に意見を発信してもらいながら、地域の活動団体による連携を強めていくことを目的に、平成28年2月27日、中原区役所5階にてコミュニティフォーラムを開催しました。

2 コミュニティフォーラムの開催概要

| | |
|-------|---|
| プログラム | 【第1部】地域の中学生によるパネルディスカッション 「武蔵小杉駅周辺地域の魅力」 【第2部】地域で活動する団体等によるワークショップ 「こすぎの魅力を活かしたこれからのまちづくり」 |
| 参加人数 | 64人 |

3 地域の中学生によるパネルディスカッション

2040年（約25年後）に武蔵小杉駅周辺地域を担っていると考えられる若い世代が、本地域についてどのように考えているのか、将来このまちがどうなってほしいのかを把握することを目的として、本地域の中学校へ通う8人の中学生に、武蔵小杉駅周辺地域の魅力や課題について話し合ってもらいました。

法政大学第二中学校



魅力の1つ目は「グランツリー武蔵小杉」です。毎年、文化祭や体育祭などが終わった後に集まつたり、文房具などを購入したり、多種多様な目的で利用しています。魅力の2つ目は通学路として利用している「法政通り商店街」です。毎年開催される全長80mのそうめん流し大会は賑やかです。3つ目の「木月ホール」は、我が校にできる新しい施設で、区民の皆様にも使用していただくことができるので、武蔵小杉のシンボルになることを願います。

中原中学校



魅力の1つ目の「多摩川」は、幼い頃からよく訪れた思い出深い大切な場所です。友だちとキャッチボールやサッカーをしたり、夏には花火大会も鑑賞できます。魅力の2つ目の「グランツリー武蔵小杉」は、屋上の「ぐらんぐりんガーデン」は、空が広く、好きな場所です。3つ目の「日枝神社の節分祭」は、地域の人が一緒に参加できる良い行事です。一方で、本地域では交通違反が多くなっており、安全で安心して暮らせるまちであってほしいと思います。

今井中学校



魅力の1つ目の「武蔵小杉駅」は、5路線の鉄道が乗り入れる駅です。魅力の2つ目の「平和公園」は、自然が多く、親しみのある自慢の公園です。ただ、夜は暗いので外灯を増やしてほしいです。3つ目の「二ヶ領用水と渋川にある桜並木」は、「かながわの花の名所100選」にも選ばれた「住吉桜」があり、春のお花見では、家族団らんや地域の交流の場になります。ただ、ゴミが多く、きれいな桜を維持するには、地域をきれいにすることが大切だと思います。

玉川中学校



魅力の1つ目の「武蔵小杉駅バス乗り場前のオブジェ」は、友達との待ち合わせで利用しており、他の地域にはない小杉のシンボルです。魅力の2つ目は、「高層マンション」です。迫力があって、とても印象が強く、武蔵小杉の良いところだと思います。また、マンション近くの「緑地や公園」は、とても良い印象が与えられると思いました。一方で、本地域には、走り回れる公園や自然と触れ合える場所が少ないため、改善すべきだと思います。

3 地域の中学生によるパネルディスカッション

2040年に小杉はどんなまちになると思いますか？

この地域に住み続けたい！

- 【コーディネーター】みなさん、この地域に住み続けたいと思いますか。
- 【中学生】大人になっても中原区に住み続けたいと考えています。武蔵小杉は高層マンションが建つなど発展しているのですが、私が住む新丸子は昔ながらの雰囲気が残っていて落ち着きや懐かしさを感じることができます。
- 【中学生】私も大人になっても中原区に住み続けたいと思います。大人になって他の地域に行くことはあっても、またこの地域に戻ってくると思います。実際、家族や親戚がこの地域に長く住んでいて、ここに帰ってくれば皆に会えるので、これからもこの地域で暮らしていきたいと思っています。
- 【コーディネーター】ありがとうございます。やはり、中学生でもここがふるさとなんですね。そういう想いをずっと持ち続けていられるまちであつたら良いと思います。この地域で他にお勧めの場所はありますか。
- 【中学生】グランツリー武蔵小杉と武蔵小杉東急スクエアの近くにある本屋を面白い本がないかと巡ったり、友だちとカラオケに行ったりしています。
- 【コーディネーター】地域の本屋は、地域にちなんだものを取り扱っていたりするなど、すごく魅力的で大事な存在だと思います。また、地域の魅力として桜並木とありましたが、➤ 【中学生】きれいな花があれば周りを掃除したいと思ったり、地域を大切にしたいと思うため、自分たちからまちをきれいにしていき、ずっと暮らしていきたいと思います。
- 【コーディネーター】自ら清掃活動に参加したことはありますか？
- 【中学生】学校が主催した活動はありますが、地域活動としての清掃活動は募集情報などを見たことがないので、こうした情報があれば参加したいと思います。
- 【コーディネーター】力強い言葉をもらいました。もし、地域で活動している方がいれば、中学生にも是非、アプローチをしてください。待っているかも知れません。地域の情報はあまり入ってこないですか。
- 【中学生】そうですね。掲示板なども見たりしますが、じっくりと見ていません。

コーディネーター
谷本有美子氏



25年後も自然や商店街が残っていてほしい

- 【コーディネーター】将来的にこのまちがどうなつていけば良いのか、2040年を想像してください。25年後、このまちにどのようなものが残っていれば良いか、教えてください。
- 【中学生】この地域には、病院はたくさんあるので、私たちの世代、中学生、高校生が利用できるお店を増やしてほしいです。
- 【中学生】やはり、映画館など、私たち中学生がすぐに足を運べるような遊び場がほしいです。また、緑も残してほしいと思っています。
- 【中学生】多摩川の河原や、皆で遊べる場所、昔ながらの良い場所は残してほしいです。
- 【コーディネーター】先ほど魅力として挙げられた、日枝神社の節分祭のような文化は次の世代に残したいですね。
- 【中学生】自分は25年後、地域内がコンクリートジャングルにならず、自然があって、清潔感があって、でも全部が新しいわけではなく、古い良さも残っているまちになっていると良いと思います。今は、小さな子どもや大人を対象としたお店が多いため、小学校高学年から、中学生を対象としたお店があると良いと思います。
- 【中学生】25年後にも古き良き商店街が残っていると、歴史があるまちという印象を受けて良いと思います。
- 【コーディネーター】皆さんがしっかり将来のことを考えていることは、大人にとっても嬉しいことです。これから、世代を、そして、小杉をつないでいくために参考になることを、ディスカッションしてくれたのではないかと思います。中学生の皆さん、ありがとうございました。



4 地域で活動する団体等によるワークショップ

地域で活動する団体や居住者・企業・学生・区職員等が8つのグループに分かれて、これからのことばのまちづくりについて話し合いました。ファシリテーターの黒崎氏と坂本氏から「今までにないユニークで楽しく主体的に取り組める活動とは何か」「それを担うのは誰か」「その効果も考えよう」と提案があり、参加者が考えたことを模造紙にまとめて発表しました。



ファシリテーター
黒崎晋司氏(左)と坂本千晴氏

テーマ 「地域での協働の取組を創り出そう！」

① 子育ちグループ1：子どもたちが自主的に活動できる場所づくりを目指す

取組アイデア1：小杉こども文化センターを夢パークにしたい

子育て世代だけでなく、世代をこえて地域に住む人が関わることができる拠点として、新しくできる小杉こども文化センターを活用したい。

取組アイデア2：子どもたちの自主的な活動を促す仕組みづくり

中高生、市民、NPO、行政などが関わり、子どもたちが自主的に活動できる仕組みをつくりたい。そのために、SNS（LINE、facebook等）を使って若い人たちの意見を集めたい。



② 子育ちグループ2：子どもたちが自分で運営できるコミュニティづくり

取組アイデア1：きっかけとなるコミュニティづくり

地域のパパ・ママ、お年寄りがいる多世代のコミュニティグループを設立して運営する。大人が楽しければ子どもの居場所づくりにつながる。

取組アイデア2：持続可能な循環するコミュニティづくり

取組アイデア1が発展すると、子どもたち同士のコミュニティができる。昔のように年長の子どもが年少の子どもをサポートするようになれば良い。更にその子どもたちが同じ地域のなかで大人になって子育て世代になる。このような循環するコミュニティができれば素晴らしい。



③ 文化・自然・ふるさとグループ：多摩川を遊び場へ～世界へ羽ばたく多摩川～

取組アイデア1：家族で遊べる自然を目指す

渡し船や防災キャンプでたくましさを身につける、三世代の家族で遊べる自然を目指す。

取組アイデア2：文化・スポーツを楽しむ施設の充実

多摩川に映画館、音楽、ダンスやコンサート、芝居ができる、カフェが近くにある場所をつくりたい。

取組アイデア3：アクセスの充実を目指す

多摩川まで誰でもすぐに行けるアクセスの充実が必要。バリアフリーの直通バスや、モノレールもほしい。



④ 交流グループ：世代間の交流を目指す

取組アイデア1：交流の場づくり

食べることが嫌いな人はいないため、農業経験者の方と地域住民のコミュニティファームで農作物をつくり、世代間交流を図る。

取組アイデア2：遊びに来たいまち

遊びに来たいまちにするために自慢できる行事「多摩川音楽フェス」をつくる。区内の音楽団体、行政、地元商店街、大型商業施設の企業等と、大規模なイベントをつくりたい。



⑤ 防災グループ：自助力を高める

取組アイデア1：管理組合・町会・民生委員等と協力しながら、名簿の整理をする

災害時に対応できるよう、日常から災害弱者を把握する必要がある。

取組アイデア2：マンション内、マンション間（近隣含む）で、弱者を含めた全員参加で実践的防災訓練をする

誰が車椅子を押せるのかを確かめるなど、実際に役立つ小規模な防災訓練を多く開催する。

取組アイデア3：防災公園を核とした環境整備（行政と地域、企業、商店街等が協力）

普段は緑豊かな遊び場だが、いざという時に皆が使えるような防災公園の環境整備を行う。



4 地域で活動する団体等によるワークショップ

⑥ 交通グループ：シェアリング自転車でどこまでも

取組アイデア1：中原区内のアクセス向上を目指す

中原区は区内を移動するための交通の便が悪いため、地域住民、行政、NPOと連携して道路を拡張・整備する。

取組アイデア2：シェアリング自転車を立ち上げる

坂が少なく、自転車がとても利用しやすい地域であるため、地域、行政、NPO、マンション管理組合、鉄道会社と連携してシェアリング自転車を設置する。同時に交通ルールづくりも行う。

取組アイデア3：安全できれいな道路をつくる

地域、NPO、学校と連携して、自転車マナーの啓発や道路・ニヶ領用水の清掃を行う。



⑦ イベントグループ：食べ物や音楽イベントを通じたコミュニティづくり

取組アイデア1：食べ物を中心とした、世代をこえたコミュニティづくりを目指す

小杉のグルメをよく知る食通＆飲食店がフロントーレや行政と協力してフードフェスを開催する。

取組アイデア2：区民が主役にも裏方にもなれる音楽イベントの実現を目指す

学生、音楽NPO、行政、企業が協力しながら、「ラッシュモブ（インターネット等で呼びかけた不特定多数の人々が公共の場に集まり突如パフォーマンスをする行為）」を実現する。

取組アイデア3：寂しいオジさんたちのコミュニティづくりを目指す

飲食店と協力して、一人ぼっちの孤独なグルメのオジさん向けに「相席ワンドリンクサービス」を提供する。



⑧ 中学生グループ：清掃と花火大会で交流、遊び場のあるまち

取組アイデア1：キレイで自然あふれるまちづくり

野球チーム、サッカーチームが地域の清掃団体と協力して清掃を行う。

取組アイデア2：交流あるまちづくり

地域の清掃団体と学校、商店街と協力して、花火大会、スポーツ大会を行う。

取組アイデア3：遊び場のあるまちづくり

会社、行政、不動産会社が協力して、ゲームセンター、映画館や地域のグラウンドをつくり、若者や外国人の方にもきてもらう。



アドバイザーからのコメント

➤ 野口 和雄氏

(有限会社野口都市研究所 所長)



武藏小杉は、既成のまちに超高層ビルを建て急速に発展したまちです。そうすると、都市計画上、周辺のまちと新しいまちとの間に今後、ストレスがたくさん生まれてくると思います。これからは超高層ビルがまちに馴染むように、地域が一体となって取り組んでいく時期だと思います。今日の皆さんとの様々なアイデアや取組は、これから非常に役に立つのではないかと思います。皆さん一人一人が力を合わせて「自分たちの色のまち」にしていただければまちは良くなると思います。

➤ 谷本 有美子氏

(神奈川県地方自治研究センター 研究員)

今日のフォーラムには、最年少で5歳の女の子が参加してくれて、様々な世代の方々との出会いがありました。知っている人と話すことでわかり合えることもあります、初めて会った人と、自分が関心のあることについて話をして、それにより気づかされる、これがコミュニティのとても大事なところだと思います。今日、中学生の話を聞いて「中学生はこう考えているのだな」と、お気づきになられたことも多かったと思います。この出会いをきっかけに、次は地域の活動や、近所の付き合いにつながっていくと良いと思います。

➤ 小島 聰氏

(法政大学 教授)



大きく変動するまちの中で、共有財産であるアートの力は重要で、人を動かす力があると感じました。中学生の皆さんのがニヶ領用水や渋川等の環境保全に関心があるため、地域と学校との連携を進めることも重要です。また、成熟したまちには色々な時間が流れています。このまちも2040年に向けて成熟していくますが、様々な時代の思い出が詰まっているまちが成熟したまちです。それぞれの大好きな場所が共通の大好きな場所になれば、コミュニティは強くなる。そんな場づくりが大切だと思いました。